

大学の成長＝学生の成長

「知の総和答申」を受け、今、認証評価をはじめとした高等教育の質評価のあり方が大きく変わろうとしている。
なぜか。人口減下で国力を維持・発展させていくためには、
「一人ひとりの能力を1.3～1.4倍に引き上げなければならない」*計算だからだ。
学生の能力を今より30～40%も向上させるには、当然、大学の教育力も、それ以上に向上させる必要がある。
大学自身が社会から必要とされ続けるためには、教育機関として成長し続け、
その成果をステークホルダーにわかりやすく伝えることも必須であろう。
大学の成長力＝「大学の自律的な質向上のための取り組み×ステークホルダーへ伝える力」と捉えた場合、
どのような課題や方策があるか。さまざまな大学の模索を手掛かりに考えていきたい。

*中教審「高等教育の在り方に関する特別部会」永田恭介部会長の発言（BetweenNo.316「『知の総和答申』委員に聞く!」より）



「質保証」から ～大学の成長力と「質向上」へ

